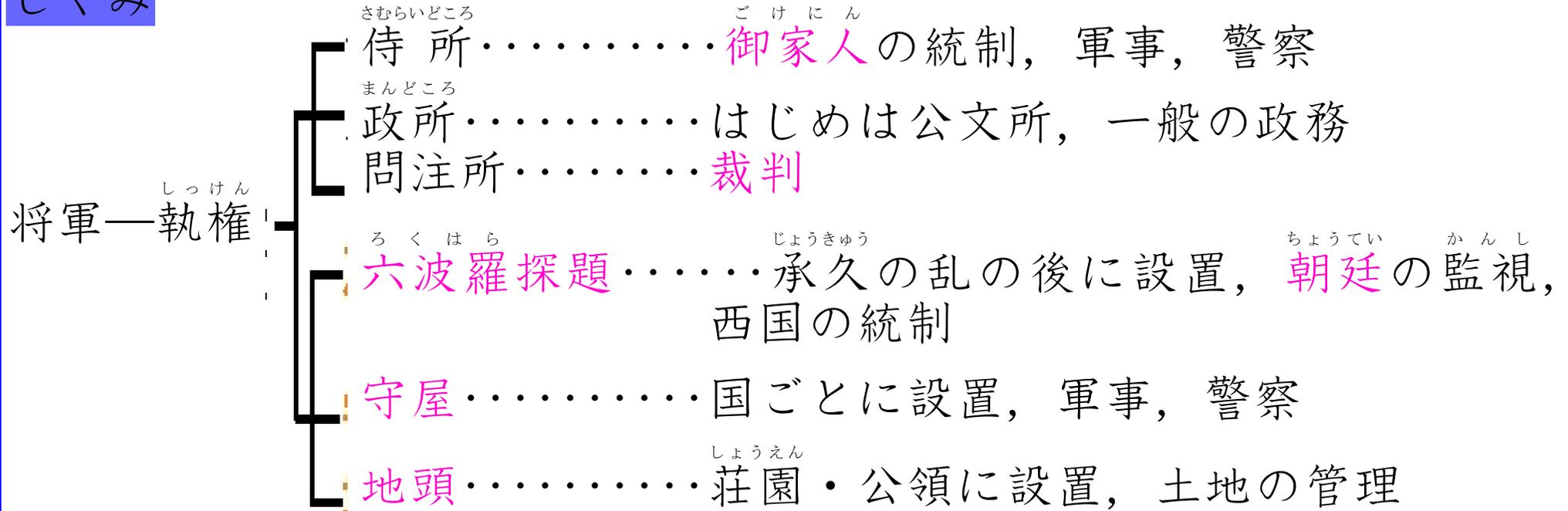


# 鎌倉幕府の成立



◆ 1192年、<sup>みなものよりとも</sup>源頼朝が<sup>かまくら</sup>鎌倉幕府を開く。

## しくみ



◆ 将軍と御家人は，**土地**をなかだちにした<sup>ごおん</sup>御恩と<sup>ほうこう</sup>奉公の主従関係で結ばれていた。

# 北条氏の政治

◆ 1221年の承久の乱で、鎌倉幕府の勢力が全国に拡大した。

- 源頼朝の死後、源氏の将軍が3代で断絶  
→ 執権の北条氏が政権をにぎる。
- 将軍後継者問題で後鳥羽上皇と執権の北条義時の対立  
→ 承久の乱 
- 幕府側の勝利 → 後鳥羽上皇を隠岐に流す。  
六波羅探題の設置，上皇側の荘園と領地の没収  
↓  
新補地頭の設置，皇族・貴族から将軍を招く。

◆ 1232年，武士による法律ができる。

執権北条泰時が御成敗式目を制定して御家人の権利や義務を示す。

# 鎌倉新仏教

かまくら

● 鎌倉時代に新しい仏教が誕生して、武士や民衆の間に広まった。

A 浄土信仰から発展したもの〔念仏を唱えるもの〕

① 浄土宗：法然…「南無阿弥陀仏」を唱えれば往生できる。

② 浄土真宗：親鸞…阿弥陀仏の救いを信じるだけで往生する。

③ 時宗：一遍…おどりの念仏により布教する。

B 法華経の題目を唱えるもの

・ 日蓮宗：日蓮…「南無妙法蓮華経」を唱えれば成仏する。

C 宋から伝わり座禅を行うもの〔禅宗〕

① 臨済宗：栄西…幕府の保護を受ける。

② 曹洞宗：道元…権力をきらい越前の永平寺にこもる。

# 鎌倉時代の文化

- 鎌倉文化は武家と公家の2つの性格をもっている。
- 和歌：「新古今和敬集」…後鳥羽上皇の命による，藤原定家らの編集
- 「金槐和歌集」…源実朝，「山家集」…西行法師
- 随筆：「方丈記」…鴨長明，「徒然草」…吉田兼好
- 学問：金沢文庫…北条実時が建てた図書館，「愚管抄」…慈円
- 軍記物：「平家物語」…琵琶法師が語り伝える平家の栄枯盛衰の物語
- 建築：力強い天竺様の東大寺南大門，簡素な美の唐様の円覚寺舍利殿
- 彫刻：金剛力士像…運慶・快慶らの作
- 絵圃：似絵…源頼朝像・平重盛像，絵巻物…「蒙古襲来絵詞」
- 工芸：瀬戸焼…加藤景正

# 元寇

◆<sup>げんこう</sup>元寇によって<sup>ごけにん</sup>御家人の生活は苦しくなり、<sup>かまくら</sup>鎌倉幕府の力は弱まった。

元：1271年、チンギス=ハンの孫のフビライ=ハンにより成立

1279年、<sup>なんそう</sup>南宋を滅ぼして中国を統一〔都…大都〕

2回の元寇：1274年の<sup>げんこう</sup>文永の役、1281年の<sup>こうあん</sup>弘安の役、<sup>しっけん</sup>執権は北条時宗

元寇の<sup>えいきょう</sup>影響 幕府…戦費と防衛費のために財政難



御家人…戦いの負担大と不十分な恩賞で生活苦と借金苦

御家人の救済のための<sup>とくせい</sup>徳政令→失敗→幕府の弱体化

# 鎌倉幕府滅亡～建武の新政

● 1334年、<sup>ごだいご</sup>後醍醐天皇が建武の新政を始める。

- 2回の<sup>げんこう</sup>元寇の<sup>えいきょう</sup>影響→<sup>ごけにん</sup>御家人の生活苦→<sup>しっけん</sup>執権北条氏の失政
- <sup>かまくら</sup>鎌倉幕府を倒そうとする勢力の結集

{ 天皇・<sup>くげ</sup>公家……………後醍醐天皇  
有力御家人……………足利尊氏，<sup>よしさだ</sup>新田義貞  
非御家人・<sup>くすのき</sup>悪党…楠木正成

- 1333年，<sup>めつぼう</sup>鎌倉幕府滅亡－1334年，建武の新政
- 建武の新政……公家中心の政治－武士の不満－2年で失敗
- 建武の新政の実態を示す史料＝「<sup>ふたじょうがわらのらくし</sup>二条河原の落書」

# 南北朝時代と室町幕府の成立

● 1338年、足利尊氏むろまちが室町幕府を開く。

- 足利尊氏の挙兵 — 後醍醐天皇ごだいごが吉野よしのへ逃げる = 南朝
- 足利尊氏が京都で光明天皇をたてる = 北朝  
南北朝時代 [南朝と北朝の対立]
- 尊氏が光明天皇から征夷大將軍せいいたいしやうぐんに任じられる = 室町幕府むろまちの成立
- 室町幕府 = 守護大名の連合政権,  
鎌倉府かまくらの設置 (関東の支配)  
管領かんれいの設置 [將軍ほさやくの補佐役]
- 1392年 3代將軍足利義満の時に南北朝が合一  
…南朝の天皇が北朝の天皇に位をゆずるという形式で

# 倭寇と日明貿易

倭寇………中国・朝鮮側からの呼び名で高麗滅亡の原因となる。

日明貿易…〔勘合貿易〕

- 明の日本への要求…①倭寇の取りしまり ②朝貢貿易
- 1404年, 3代将軍足利義満による貿易の開始
- 勘合符の使用……正式な貿易船と倭寇を区別するために使用した合  
い札
- 貿易の主体……堺・博多の商人→幕府に献金→幕府の財源
- 幕府衰退後……守護大名(大内氏・細川氏)が貿易の実権掌握
- 輸出品……銅・刀剣・硫黄・まき絵  
輸入品……銅銭・生糸・絹紬物

# 室町時代の産業

むろまち

● 室町時代に諸産業が発達した。

- ① 産業……<sup>いね</sup>稲と<sup>ふきゅう</sup>麦の二毛作が全国的に、牛馬耕・間作の普及  
かんがい用の<sup>そうもくかい</sup>水車の使用、<sup>さいばい</sup>草木灰の肥料の使用  
作物の種類が増加……<sup>綿</sup>の栽培
- ② 手工業…<sup>にしじん</sup>絹織物……<sup>西陣</sup>・博多、<sup>みの</sup>紙……<sup>美濃</sup>
- ③ 鉱業……<sup>かい</sup>甲斐の金、<sup>石見</sup>の銀
- ④ 商工業…月6回の<sup>かへい</sup>六斎市、<sup>そうせん</sup>貨幣……<sup>みんせん</sup>宋銭・明銭  
<sup>きんゆう</sup>金融業者…<sup>土倉</sup>・<sup>酒屋</sup>  
運送業者……陸上運送は<sup>馬借</sup>，水上運送は<sup>問丸</sup>

# 土一揆

ど い っ き  
土一揆……農民と土着の武士が連合した，支配者に対する武力よる反抗 はんこう

① 徳政一揆 いっ き…幕府に徳政令（借金おうみの椎消し）の発布を要求

1428年，正長の土一揆…近江の馬借おうみに山城の農民が加わり，

京都の土倉しゅうげきや酒屋やまとを襲撃→大和へ波及 はきゅう

② 国一揆……国人（土着の武士）と農民による守護大名への反抗

1485年，山城の国一揆…守護の畠山氏 はたけやまを追放  
→8年間自治を行う。

③ 一向一揆 いっ こう いっ き…一向宗（浄土真宗）の信徒による守護大名への反抗

1488年，加賀の一向一揆 いっ こう いっ き…守護の富樫氏 とがしを打倒 だとう  
→約100年間自治を行う。

# 室町時代の文化

● 武家が、<sup>ぜんしゅう</sup> 禅宗と <sup>くげ</sup> 公家文化を取り入れて、新しい文化をつくった。

- 建築：金閣…<sup>べっそう</sup> 足利義満が建てた別荘－北山文化
- 建築：銀閣…<sup>べっそう</sup> 足利義政が建てた別荘－東山文化（書院造）
- 庭園：<sup>かれさんすい</sup> 枯山水…<sup>りょうあんじ</sup> 竜安寺石庭
- 絵圃：<sup>すいぼく</sup> 水墨圃…<sup>せっしゅう</sup> 雪舟，<sup>やまとえ</sup> 大和絵の手法を取り入れた<sup>かのうは</sup> 狩野派
- 芸能：<sup>きょうげん</sup> 能楽…<sup>かんあみ</sup> 観阿弥・<sup>せあみ</sup> 世阿弥父子，  
狂言…能の幕あいの演劇
- 学問：①五山文学……………<sup>うえすぎ</sup> 夢窓疎石，一休宗純
- 学問：②足利学校の再興…<sup>うえすぎ</sup> 上杉憲実
- 文芸：①<sup>そうぎ</sup> 連歌……………<sup>そうかん</sup> 宗祇，山崎宗鑑
- 文芸：②<sup>おとぎぞうし</sup> お伽草子…「一寸法師」，<sup>うらしまたろう</sup> 「浦島太郎」

